

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	保健福祉部福祉生活課	直通電話	72-3194	事業コード	303060201	課内	2	作成日	平成15年8月26日
	担当者		村谷 栄治	担当課長	鎌田 英暢	担当部長	棚橋 文男		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	高齢者クラブ運営費補助事業	開始年度	S47	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度	無し		
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 3030201 大項目 / 小項目 / 細項目 高齢者福祉の充実 / 生きがいづくり推進 / 生きがい事業の充実				
3) 個別計画での位置付け	石狩市総合福祉計画(H9年度策定)地域に根ざしたボランティア・コミュニティの創出 / 社会参加の促進)				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	高齢者の生活を健全で豊かなものとし、日々の生きがいを高めるために。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	健康増進や社会奉仕などの地域社会活動を担う「高齢者クラブ」の活動を助長する。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	市高齢者クラブ連合会に運営経費として定額で330,000円を補助し、単位クラブの育成と連絡調整・高齢者福祉行政の普及啓発など地域会員(高齢者)の福祉増進を促進する。また、単位クラブには連合会を通して定額及び人数割を補助し、地域社会活動を助長する。 1. 単位クラブに対する補助金(30単位クラブ) 定額分 (基準70,000円 / 単位クラブ) × 30単位クラブ(H14年度実績) 人数割合(30人を超える毎に1人に対して、1500円)1,500円 × 1,806人(H14年度実績) 2. 市高齢者クラブ連合会運営費補助金 定額分 (基準330,000円 / 連合会) × 1連合会(H14年度実績)
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	なし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	高齢化率の上昇と少子高齢社会の到来により、高齢者の余暇生活と社会活動として自ら、これまで蓄積した経験と能力を有効に発揮する場としての「高齢者クラブ」の存在は益々重要となっている。高齢者クラブの育成は、国の施策項目にも位置付けられ、全道(全国)の各自治体もその活動を支援している。市ではこの他新規高齢者クラブに対して初度備品を貸与する制度がある。
6) 事業の立案や実施などへの市民参	なし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	5,666	5,154	5,139	5,080	連合会補助金	330
2) その他の間接経費(千円)					単位クラブ補助金	4,809
3) 従事正職員の人件費(千円)	493	498	495			
総事業費(1~3の合計;千円)	6,159	5,652	5,634		H14主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	4,987	4,501	4,444		老人クラブ運営事業補助金(国庫)	595
市民一人当たり一般財源使用額(円)	90	81	79		老人クラブ運営事業補助金(道費)	595
事務に従事した正職員のべ人数	0.06人	0.06人	0.06人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
単位クラブ数(クラブ)	目標値	29	31	31	目標値は当初予算時のクラブ数とした。
	実績値	30	30	30	
	達成率	103.4%	96.8%	96.8%	
総会員数(人)	目標値	2,693	2,730	2,830	目標値は当初予算時の総会員数とし、実績値は補助金対象人数とした。
	実績値	2,598	2,686	2,679	
	達成率	96.5%	98.4%	94.7%	
会員一人当たりの費用(円)	目標値	1,769	1,783	1,774	目標値は当初予算時の単位クラブ補助金総額を総会員数で除した数値とし、実績値は決算額を実会員数で除した数値とした。
	実績値	1,825	1,758	1,795	
	達成率	103.2%	98.6%	101.2%	

5 事業の成果

事業名：高齢者クラブ運営費補助事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
高齢者クラブ会員加入率(%)	目標値	30	30	30	30	加入率はクラブ加入者総数を介護認定者を除く60歳以上の在宅自立高齢者で除した数値とし、目標値は全対象者の3割とした。	60歳以上高齢者数及び介護認定者数
	実績値	28	29	26	目標レベル		
	達成率	93.3%	96.7%	86.7%			
	最終目標	年度に					
連合会主催主要事業平均参加率(%)	目標値	10	10	10	15	参加率は連合会主催の主要事業平均参加者数を総会員数で除した数値とし、目標値は総会員数の平均参加率を1割として設定した。	連合会年度別決算資料より
	実績値	7	7	10	目標レベル		
	達成率	70.0%	70.0%	100.0%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	【課長評価】	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
【評価ポイント】 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	高齢化率の上昇による対象者の増加に反して、会員数が伸び悩んでいるが、単位クラブは概ね市内地域毎に結成され、諸活動も連合会規模や各単位クラブ規模においても停滞することなく継続されており、補助金の一人当たりの費用も概ね適正であることから概ね良好とする。				
2) 有効性・必要性	【課長評価】	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
【評価ポイント】 その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	年々、高齢者が増加する中で、高齢者クラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であるとともに、介護予防や相互の生活支援という観点からその役割は重要であり社会活動などの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを促進するためにも本事業は必要であるが、核家族化や地域社会の繋がりが希薄になるなど社会環境の変化と個人意識の多様化により、集団での活動の必要性に疑問を持つ高齢者が多くなってきていることから、なかなかクラブ数や会員数が増えない状況であり、また、単位クラブによっては会員構成自体が後期高齢化している傾向も見られる。				
3) 市関与の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため、高齢者クラブの活動と事業に育成を図ることは、今後も重要かつ必要性が高い。				
4) 事業内容の妥当性	【課長評価】	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
【評価ポイント】 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	補助金の基準をクラブの規模により定めていることから会員一人当たりの支援の度合いとしては適当。ただし、クラブ会員の高齢化など地域事情によりクラブ活動の度合いに差が生じてきている。 (特に郡部のクラブは会員の固定化と高齢化に伴う会員の減少が激しい。)				

7 平成14年度事業の総合評価

【評点の意味】 A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	【課長評価】	B	【最終評価】	B (前年度)
	会員の固定化と高齢者による活動の硬直化が見られるクラブもあるが「新しい高齢者像」の具体化に向けた活動の中心を担う「高齢者クラブ」の支援は今後も必要。		課長評価を了承する。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	急速に高齢化が進む社会で、高齢者の経験と知識を有効に活用することは重要であるが、単に運営経費を補助するだけではなく連合会を中心とした新たな自主的事業展開のために情報の提供などの支援が必要。また市内全域に身近な地域クラブとしての新規新規クラブの育成と会員拡大への支援必要。
最終評価	今日、高齢者の姿は多様化しており、画一的な見方を見直し、今後、新しい高齢者像と高齢者福祉のあり方の検討が必要である。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についての説明	連合会及び単位クラブに新たな活動内容への取組み意欲と推進を求める。		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 保健福祉部福祉生活課
事業名： 高齢者クラブ運営費補助事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	高齢者クラブ運営費補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市高齢者クラブ連合会 会長 山田義晴 各単位クラブ 30クラブ 会員数 2,800名
活動(事業)目的	健康増進・教養熟成・社会奉仕活動を中心とした各種事業を通して高齢者福祉の向上を図る。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

	H12決算		H13決算		H14決算		H15予算		
	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	
歳出決算(予算)状況	連合会運営予算	1,676	1,676	1,700	1,700	1,683	1,683	1,686	1,686
	単位クラブ運営予算	4,642	4,642	4,824	4,824	4,809	4,809	4,683	4,683
	次年度繰越	133	0	72	0	83	0		
	歳出合計	6,451	6,318	6,596	6,524	6,575	6,492	6,369	6,369
歳入決算(予算)状況	高齢者クラブ運営費補助金	5,072	78.6%	5,154	78.1%	5,139	78.2%	5,013	78.7%
	会費	1,050	市の補助負担金への依存度	1,090	市の補助負担金への依存度	1,222	市の補助負担金への依存度	1,222	市の補助負担金への依存度
	補助金(共同募金他)	170		160		130		40	
	繰越金他	159		192		84		94	
	歳入合計	6,451		6,596		6,575		6,369	
補助・負担対象経費の内容	単位クラブへの交付金及び連合会の事業費と事務経費を対象								
補助・負担金額の算定方法	連合会補助金 定額補助330,000円 単位クラブ補助金 1クラブ当たり定額補助分(定率割50,000円+事業割20,000円)、加算分(人数割31名以上の会員1名につき1,500円加算)								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
健康増進活動(各スポーツ大会など)の開催回数	2	3	3	3
教養講座(リーダー研修・ボランティア研修など)の開催回数	6	5	7	8
社会奉仕活動(赤い羽根街頭募金他)の回数	2	2	2	2
文化活動(交歓芸能発表会など)の開催回数	1	1	1	1
(上記は連合会主催事業)				
平成14年度活動(事業)実績	連合会主催各事業年間参加述べ人数 2,552名			

4 特記事項

--